

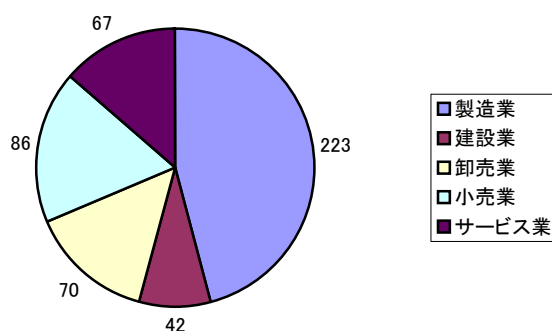
景気動向

景気は、横ばいで推移。
製造業の先行きは大幅に改善、非製造業はわずかに改善の見通し。

- 調査時点 平成21年7月調査(21年6月末時点)
- 対象企業 763社
- 回答企業 488社(回答率:64.0%)
(製造業223社、建設業42社、卸売業70社、
小売業86社、サービス業67社)
- 調査時期 四半期毎<3, 6, 9, 12月末時点>

DI(Diffusion Index)値とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値。

回答企業	
製造業	223
建設業	42
卸売業	70
小売業	86
サービス業	67



<全産業>

全産業の業況DI(▲69.9)は、前回(▲70.6)に比べて0.7ポイント改善した。業種別では製造業の業況DIは▲78.9(前回▲78.5)となり、横ばいのまま推移している。卸売業、サービス業の業況DIはわずかに改善を示しているが、小売業の業況DIは横ばいのまま推移し、建設業の業況DIはわずかに悪化を示している。

各業種からは、消費者の買い控えによる購買単価の下落、取引先の業績悪化による不良債権の発生など、「厳しい状況が続いている」との声があった。

3か月先見通しは製造業の業況が大幅に改善、非製造業がわずかに改善を見通しているが、先行き不透明感の強まりから、下げ止まりの動きが明確になる可能性は弱い。

■全産業の主要4項目DI値

	業況	売上	採算	資金繰り
6月末時点	-69.9	-68.2	-66.2	-46.9
3月末時点	-70.6	-69.7	-68.5	-49.6
前回比	0.7	1.5	2.3	2.7

■全産業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	4.9	3.8
悪化	74.8	74.4
DI値	-69.9	-70.6
前回比	0.7	2.8

■3月末時点からみた

全産業の業況3か月先の見通し

業況3か月先見通し	
良化	10
悪化	41.6
DI値	-31.6

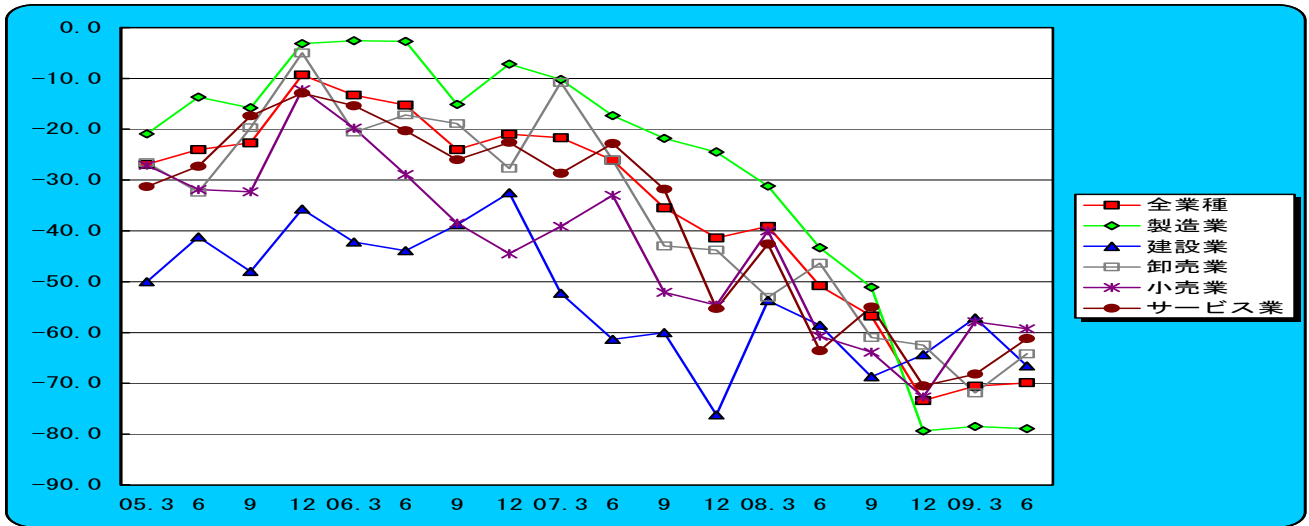
■製造業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	5.4	3.7
悪化	84.3	82.2
DI値	-78.9	-78.5
前回比	-0.4	2.8

■非製造業の業況

業況	6月末時点	3月末時点
良化	4.5	3.9
悪化	66.8	67.7
DI値	-62.3	-63.8
前回比	1.5	2.8

■業種別業況DI値推移グラフ



< 製造業 >

業況DI値	
今回	-78.9
先行き	-16.1
前回比	-0.4

対象企業	342
回答企業	223

業況・売上・採算は横ばいのまま推移しているが、資金繰りはわずかに改善を示した。

業種別にみると「織物」「鉄鋼・非鉄」の業況が改善を示し、「輸送用機器」「精密機器」「プラスチック」の業況はわずかに改善を示した。「食料品」「酒造」「木材・木製品」「印刷」「電気機器」の業況は、わずかに悪化を示した。

3か月先見通しは、業況・売上が大幅改善、採算・資金繰りが改善の見通しを示した。

業種別にみると「窯業・土石」「鉄鋼・非鉄」「金属」「一般機械」「電気機器」「輸送用機器」「精密機器」「漆器」「プラスチック」の業況は大幅改善、「食料品」「織物」も改善、「酒造」「縫製」「木材・木製品」「印刷」もわずかに改善を示している。「ニット」はわずかに悪化を見通している。

3ヶ月先見通しは、ほとんどの業種で改善を見通しているが、一部に「先行きが不安である」との声もあった。

自由意見

製造業

- 大手企業のグループ化が進み、中小企業にとって厳しい状況。 【食料品】
- メーカーからの発注がないため、当分休業。 【縫製】
- 景気短観では、悪化は下げ止まりのようであるが、中小零細企業の実態はかけ離れている。受注減少、デフレ進行、資金環境の悪化など、地方の中小零細企業は先行きがまるで見えない。 【木材・木製品】
- 仕事の発注がなく、大変厳しい状況にあります。 【窯業・土石】
- 売上が対前年比79%に落ち込み、さらに取引先の業績悪化による回収不良が発生している。 【窯業・土石】
- デバイス業界全体で急激な在庫調整が進んだため、一時的に持ち直しているが、持続的なものかは疑問である 【金属】
- 6月より若干の売上増加が見られるが、昨年度の落込を挽回するまでには相当時間がかかる。 【金属】
- 全てが悪く、先行き不安である。 【金属】
- 9月以降、先が見えてきません。 【金属】
- ここに来てコストダウンの要請まであり、さらに厳しさを増す可能性が高い。 【一般機械】
- 3ヶ月先、良化するとしても希薄な感じがする。 【一般機械】
- 非常に良くない状況が続いており、2ヶ月先になると何ともいえない状況である。 【一般機械】
- 全く先の見通しが立たない。 【電気機器】
- 製造業の海外生産が増え続けている。日本国内への影響が懸念される。 【電気機器】
- 自動車(大型・中・小トラック)業界は底をついたが、まだ前年比50%以下です。 【輸送用機器】
- 得意先でも先の予想がつかない状態である。 【輸送用機器】
- エコポイントのおかげで家電関係は伸びているが、これも8月までで、その後は伸びないのではないかと。 【プラスチック】

< 建設業 >

業況DI値	
今回	-66.6

業況・採算・資金繰りはわずかに悪化を示し、売上は横ばいを示した。
業種別にみると「土木」「建築」とともに業況はわずかに悪化を示した。

先行き	-54.8
前回比	-9.5

3か月先見通しの業況・採算はわずかに改善を見通しており、売上・資金繰りは横ばいを見通している。

業種別にみると「建築」の業況・採算はわずかに改善を見通しているが、「土木」は業況・売上・採算・資金ぐりのいずれも横ばいを見通している。

仕事が無いに等しく、「依然として厳しい状況である」との声があった。

対象企業	67
回答企業	42

自由意見

建設業

○官民を問わず当社の顧客の全てが疲れ果てており、発注の余力がない。

【土木】

○福島地区では仕事がないに等しい。

【建築】

<卸売業>

業況DI値	
今回	-64.2
先行き	-35.7
前回比	7.7

業況・採算はわずかに改善を示し、売上・資金繰りは横ばいを示した。

業種別にみると「飲食料」は業況・売上・採算・資金繰りのすべてにおいて悪化を示した。「衣服」「鮮魚」は業況・売上・資金繰りで改善傾向を示した。「青果物」は業況・採算が改善を示したが、売上・資金繰りはわずかに悪化を示した。「機械器具」「建築材料」の売上はともに横ばいを示した。

3か月先見通しの業況・売上は改善を見通し、採算・資金繰りもわずかに改善を見通している。業種別にみると「青果物」「機械器具」の業況は大幅に改善、採算は改善傾向を見通している。「飲食料」の売上はわずかに改善を見通しているが、業況は悪化、資金繰りはわずかに悪化を見通している。

新規開拓による顧客増を見込んでいるという「先行きの見通しに前向き」な声もあった。

対象企業	98
回答企業	70

自由意見

卸売業

○電池(二次電池)の開発という今注目の分野に関わっているため、リーマンショック以降の不況の影響は受けにくいですが、競争が激化しはじめています。

【機械器具】

○食料自給率の視点から農政の見直し機運が高まり、明るい一面は見えるものの、農外所得の減少や農業資本価格高騰により、厳しい環境が続いている

【機械器具】

○仕入価格は上昇するが、販売価格は上昇しない。また、販売量も低下している。

【その他】

○新規開拓による顧客増を目指したい。

【その他】

<小売業>

業況DI値	
今回	-59.3
先行き	-46.5
前回比	-1.4

業況・採算・資金繰りは横ばいを示しているが、売上はわずかに改善を示した。

業種別にみると「家電品」「自動車販売」の業況は改善を示し、「飲食料」「家具・建具」「大規模店」の業況は悪化傾向を示した。

3か月先見通しは、業況・売上・採算はわずかに改善を、また、資金繰りは横ばいを見通している。

業種別にみると「家電品」「自動車販売」の業況・売上は改善を見通し、「衣料」「飲食料」の業況はわずかに改善、「大規模店」の業況は大幅改善を見通している。

「中小スーパー」の売上・資金繰りは悪化傾向を見通している。

全体的に「販売数・販売単価ともに減少している」という声が多かった。

対象企業	154
回答企業	86

自由意見

小売業

○尾瀬・田代山が国立公園になり、多くの客が来てくれると期待をしたが殆んど来ず、売上が減少するばかりです

【中小スーパー】

○客層の高齢化により販売数、販売単価ともに低下している。

【衣料】

○まだまだ地方は良くならない。

【飲食料】

○中小企業が大型店との差別化を図り、生き残るためにはどうしたらいいか。

【飲食料】

○お客様の金銭感覚がとてもしびやになってきています。余分なものは買わず、最少単位で買う。売る方には辛い

ことが増えています。	【飲食料】
○この先の経営の見通しが立たないので、とても不安です。	【飲食料】
○景気の最悪期がとても長い。	【飲食料】
○仕事量、単価共に悪化しており、下げ止まり感が感じられない。それに伴い借入返済、税金の支払に限界を感じる。	【家電品】
○量販店の販売価格が下がっているため、こちらも下げざるをえない。	【家電品】
○前年と比べて客数は増えているものの、販売点数はダウンしている。	【その他】

<サービス業>

業況DI値	
今回	-61.2
先行き	-44.8
前回比	7.0

対象企業	102
回答企業	67

業況・採算・資金繰りはわずかに改善を示し、売上は横ばいを示した。業種別にみると「観光旅館」の業況・売上・資金繰りはわずかに改善を示したが、「自動車整備」は売上がわずかに悪化を示した。「タクシー」「運送」の売上・採算・資金繰りは改善傾向を示し、「情報サービス」は採算でわずかに改善を示したものの、資金繰りではわずかに悪化を示した。

3か月先見通しの業況・売上・資金繰りはいずれもわずかに改善を見通し、採算は横ばいを見通している。業種別にみると「タクシー」が大幅改善、「運送」「情報サービス」は業況・売上・採算・資金繰りのいずれも改善傾向を見通している。「観光旅館」「運送」「自動車整備」は業況でわずかに改善を、また、「情報サービス」は業況・売上・資金繰りで改善傾向を見通している。「客数は少しずつ増えてきているが、販売単価は低いままである」という声もあった。

自由意見

サービス業

○不況による受注減少で輸送量も大幅に減少した。また、ここに来て燃料代がじわりと上がって来てる。	【運送】
○初めて免許を取得する18才人口が激減したため、状況は厳しい。	【その他】